

体力向上 問 都市整備課 ☎45-8128 FAX43-2945

遊びながら学ぶ体の使い方教室「放課後PLAYカフェ」開催



子どもたちに指導する小俣先生



遊びながら体を動かす子どもたち

「体育や競争しないといけないスポーツが苦手だな…」「もっと上手に体を動かせたらいいのにな…」と悩む市内の小中学生へ向けた体の使い方教室「放課後PLAYカフェ」がWaiwaiドームしもつままで開催されました。

同教室は、小学生の部と中学生の部の2部構成で4回開催され、小中学生延べ172人が参加。深刻な子どもたちの体力・運動能力の低下の歯止めや機能障害(ロコモティブシンドローム)の予防と合わせ、スポーツ指導者の指導力向上を目的に、子どものトレーニング・育成システムの専門家・小俣よしのぶ氏が監修、県内スポーツ団体・指導者などの協同のもと開催されました。

保護者からは、「学校では教わらないような動きばかり。遊びながら体力をつけてほしい」と話が聞けました。

茨城国体スポーツ交流 問 福祉課 ☎43-8352 FAX43-6750

いきいき茨城ゆめ大会に向けて「障害のある方のスポーツ教室」開催



ボッチャを楽しむ参加者

3月2日、茨城県および茨城県障害者スポーツ協会による「障害のある方のスポーツ教室」が市立総合体育館で開催され、27人が参加しました。同教室は、いきいき茨城ゆめ大会に向けて障害者スポーツの普及を目的に開催されました。

参加者は準備運動で国体ダンスを踊った後、ボッチャや卓球バレーなどを体験し、「簡単そうに見えても難しい」「次はこうしたら上手くできるかな」など和気あいあいと障害者スポーツを楽しみました。

温かい善意ありがとうございます

■コンサートのチャリティー募金が寄付されました

市は昨年11月28日、「福祉事業へ役立ててほしい」と45,505円の寄付金をいただきました。

この寄付金は昨年11月25日に下妻市民文化会館で開催された岡ゆうこさんのコンサートで寄せられたチャリティー募金によるものです。



左から倉持忠夫さん、松本英祐さん、菊池市長、池田靖彦さん

大臣視察 問 企画課 ☎43-2113 FAX43-1960

片山地方創生大臣来訪「さん歩の駅サン・SUNさぬま」を視察

3月9日、片山さつき地方創生担当大臣が茨城県内の地域資源を活用した事例の視察に訪れました。片山大臣は、地方創生に関する地域の取り組みやニーズを把握し、今後の施策に生かそうと、県内6市町を見て回る中、「さん歩の駅サン・SUNさぬま」を視察し、菊池市長などと意見交換をしました。

菊池市長から施設や事業などの説明を受けた片山大臣は「茨城県は地方創生制度の活用が最も進んでいるので、県や市町村に力がある。ますます頑張してほしい」と述べ、カフェからの眺望や観光物産販売所を視察しました。



下妻マルシェで下妻産の野菜などを視察する片山大臣



カフェレストランで菊池市長から説明を受ける片山大臣

地域福祉 問 介護保険課 ☎43-8264 FAX30-0011

「誰もが安心して住み続けられるまち」を考える

3月17日、市は、市民向け講演会『市民が安心して住み続けることができるまち』～困ったときの相談先を知ろう～を市図書館映像ホールで開催し、市民など約70人が参加しました。

講演会は2部制で行われ、第1部は日本司法支援センター茨城地方事務所より法テラスの法律相談について解決事例などを交えての講話がありました。第2部のシンポジウム「わたしたちはこんな活動をしています」では、市内の医療、介護、福祉の専門職ら7人による日頃の活動報告や意見交換が行われ、座長を務めた平間病院院長の平間敬文先生より、何か困ったときには地域包括支援センターなど地域の相談窓口を活用してほしい、市民を支える仕組みをわたしたちでつくってほしいとの話がありました。



第2部で意見交換をするシンポジストたち

3月31日、二期6年間副市長を務めた野中周一副市長が退任されました。野中氏は、市の行政の推進に尽力されました。



野中周一副市長が退任

4月1日、齋藤章氏(水戸市)が平成31年第1回市議会定例会での同意を得て、新副市長に任命されました。齋藤副市長は、昭和56年に茨城県入庁後、牛久市副市長、茨城県理事兼政策審議監、茨城県県民生活環境部長などを歴任。任期は平成35年3月31日までの4年間で。



新副市長に齋藤章氏が就任

有料広告欄